

## 中堅・中小企業と環境問題

(ドイツ・アウグスブルグ市『環境ビジネスミッション』に参加して)

財団法人 大阪科学技術センター  
ATAC 副会長 荒川 守正

地球温暖化防止など、環境問題が世界を取り巻く重要課題となり、地域環境に深い関わりのある製造業は、大企業を中心に温暖化対策・資源循環・汚染防止等環境重視の経営に熱心に取り組んでおり、環境経営度の尺度で企業のランク付けが行われる時世となりました。製造業で大半を占める中堅・中小企業でもその例外ではなく、環境対策を無視した経営は成り立たなくなってきました。

ATACは、環境問題に一層深く取り組むよう努めていますが、その一環として昨年10月末から約1週間、尼崎市が姉妹都市提携をしているドイツ・アウグスブルグ市に派遣された総勢12名の『環境ビジネスミッション』の団長として、4日間に9ヶ所を見学調査してきました。今後のATACの環境への取り組みに大いに参考になったと思います。

アウグスブルグ市では環境問題を最重点目標と決め、市役所・商工会議所・バイエルン州環境保護庁(わざわざアウグスブルグに移転させた)・州産業廃棄物研究所(4部長は全員ミュンヘン大学教授で、効率的に大学と連携)・環境教育センター(人材養成)・環境起業センター(インキュベーター)・ゴミ処理場・下水処理場(共に企業の分も処理)が、環境振興協会所管センター(4人)のコーディネート活動を中心に、産官学の壁を乗り越えネットワークを組んで、州の環境ビジネスの振興のために、世界中に発信し成果を挙げているのには感心しました。ドイツ企業とのビジネスも緒についたばかりで今後の展開を待たねばなりません、尼崎市も環境ビジネス振興の目標を明確にし、例えば都市ゴミや産業廃棄物に関連したビジネスの振興支援と市の環境問題の解決に役立てられればと思います。

アウグスブルグは2年前に、2000年祭を祝ったという歴史ある町ですが、歴史を大切にし伝統を守るため、絶えず革新を続けている市民の姿勢に感銘を受けました。その姿勢が次世代に美しい町並み(汚れたガラス窓は見られません)を残す努力につながっているものと思われます。

山岡孫吉氏(ヤンマーディーゼル創業者)とディーゼル氏(アウグスブルグ生まれ)によって始まった姉妹都市関係のおかげで、実に多くのことを学ぶことができ今後のATAC業務にこの体験を生かしたいと考えています。

ATACではこの2月に、大阪・奈良・岡山・和歌山のメンバーが始めて一堂に集まる予定ですが、その時、皆さんに次のキーワードを伝えたいと考えています。

- ☆明確な目標の設定
- ☆コーディネートとネットワーク
- ☆歴史の重み、貴さ
- ☆伝統と革新



美しいアウグスブルグの町並み

# ATAC ニュース

## 〔公的支援制度を活用しましょう!〕

ATACは中堅・中小企業の抱えるさまざまな問題のうち、主として技術的な分野での課題解決のお手伝いをしておりますが、その中でしばしば公的な補助金制度の活用法の相談を受け、その申請や補助金を利用した研究の進捗、結果の整理などに協力をして参りました。

そこで昨年関西の中堅・中小企業から数十社を選び補助金の活用について訪問調査を行い、その結果は大阪科学技術センター発行の機関誌「the OSTEC vol.11 No.6」（平成14年6月号）に紹介してあります。

この調査で、これまで補助金制度を利用されなかったところでは、その主要な理由として制度の詳細や募集時期を知らなかったことが挙げられました。そしてこれらの情報をもっと掴み易くすることが望ましいというご意見に応じて、ATACでは昨年7月からご希望の企業様（現在 92社）へ電子メールまたはFAXで「ATAC公的支援ニュース」をお届けし、補助金を中心とした公的支援の募集情報を適宜お報せしています。

さて毎年1月は翌年度予算に基づく補助金（省庁や府県あるいは制度により名称はまちまちです）の募集月です。現在募集中あるいは募集予定の技術開発関連補助金は下表の通りです。

これらの内容詳細については「ATAC公的支援ニュース」で逐次流しておりますが、不明の点についてはATAC事務局にお問い合わせください。

先に述べました補助金活用調査でも、申請書を書くのが煩わしくまた要領よく書くのが苦手だということ

をしばしばお聞きしました。しかし採用は主として書類審査ですから、簡潔しかも分かり易く書くことが不可欠です。そのための留意点について述べてみます。

### 1. 概要をしっかりと纏める

申請要項には必ず申請する内容をほぼ300字程度でまとめる概要記述が求められています。この記述如何で採否が大きく分れるというくらいの最も大事な箇所と言えます。

目的、方法、新規性、社会的意義等々が簡潔、平易に記載されていることが大事です。

### 2. 提出前の相談をする

申請したい案件についてまずA4で1~2枚程度にまとめて、公募開始と同時に担当窓口で相談することが効果的です。

このとき担当者が目の色を変えるくらいに興味を示すテーマであれば相当な確率で採択に繋がります。目的、実施方法、予算など実現性が高い印象を持って貰えることが大事です。

### 3. 時代に沿ったテーマであること

公募研究は、その時代に必要な研究を支援することが目的ですから、社会情勢の要求に応える内容であることが必要です。

本年の課題は、雇用増進、国内空洞化防止に寄与、新規市場創出等が注目を集めるでしょう。環境関連、ナノテク、IT関連等は多く採択されると思われます。

ATACは、これまで申請に関していろいろな観点から相談にあずかってきました。今回もお気軽にご相談いただくようお待ちしております。

補助金名称	募集期間
大阪府技術向上奨励費補助金	平成15年1月6日~1月17日
大阪府経営革新支援事業	平成15年1月6日~1月17日
奈良県中小企業技術開発促進補助金	平成15年1月6日~1月24日
滋賀の新しい産業づくり促進費補助金	平成14年12月9日~平成15年1月10日
京都府創造技術研究開発費補助金	平成15年1月6日~1月17日
兵庫県技術向上奨励費補助金	平成14年12月25日~平成15年1月31日

## 読者の皆様との交流頁

この頁を読者の皆様とATACとの相互交流に使っています。企業の抱える当面の諸問題について、企業内だけで処理するより、他の企業やATAC等に課題を持ち掛け、他人の知恵や専門知識を利用した方が解決が早いケースが多いので、下記のように『読者の掲示板』と『企業PRコラム』を設けました。

### 読者の 掲示板

#### 中古ロボットお譲りします。

わが社では、設備合理化のため、現在使用中の下記多関節型ロボット3台の売却先を探しています。

メーカー	年式	形式	台数	使用時間 (hr.)
松下電器	1993	AW-010A	1	5382
不二越	1996	SC35F-01	1	2423
不二越	1998	SC35F-01	1	1756

いずれも、整備状態は良好で即使用可能です。詳しい仕様の必要な方、および購入ご希望の方は、ATAC事務局までご連絡ください。(N社)

### 企業 PR コラム

## 開発受託会社(株)トラストを設立し、 ますます発展するニートグループ

株式会社ニート 社長 児玉 崇



当社は、ミクロンアンダーレベルの金型加工技術と自動機製造技術を基に、コネクタなど小物精密成形品を商売にして18年になります。

このたび当社金型部門と三洋ハイテクノロジー(株)の金型部門を合体し(株)トラストを立ち上げました。その結果、関西屈指の3Dデザイン→一般光造形・耐熱光造形・真空注形・モデル製作・試作金型→3D金型設計→量産金型→成形→組立までの一貫受注が可能となりました。

会社のコンセプトも業務は「開発受託」、キーテクノロジーは「鏡面」と「微細加工」を志向しています。

現在の主な受注は成形品で、各種電子部品・臨床検査消耗品などの単品並びに組立品です。

製品は、Mg合金成形金型・導光板・CD・DVD光ディスク等の金型です。

最近、光ディスクの微細加工技術がDNA分析用に

使える事がわかりました。でもみんな口が堅いから内容は誰にもしゃべりません。(株)トラストも開発受託会社ですから内容はしゃべられません。開発会社は作ったけれど、お金を払って開発を外注する会社はあるのだろうか？心配です。でも作っちゃったから使ってください。3D設計やモデル試作だけでもやります。お問い合わせは下記まで。

株式会社トラスト (担当：課長 坪井 邦雄)  
〒679-0105 兵庫県加西市朝妻町1044番  
TEL 0790-47-9001 FAX 0790-47-9002  
E-mail tsuboi@nt-ps.co.jp  
<http://www.trustweb.jp/top.html>



ATACホームページをご覧下さい

ATACニュース2号に関するご意見、および今後のご要望を  
どしどしATAC事務局までご連絡ください。

### ATAC事務局 担当/梅村(とがむら)・橋本

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4  
(財)大阪科学技術センター 技術・情報振興部  
TEL06-6443-5323 FAX06-6443-5319  
e-mail : [atac@ostec.or.jp](mailto:atac@ostec.or.jp)

URL <http://www.ostec.or.jp/tec/atac/index.html>

# ATACの内容

本会は長年の経験により独自の技術とノウハウを有する技術者・管理者を結集し、お互いの知恵を出しあい、学習しあい、ネットワークを活用するとともに、中堅・中小企業が抱える国際化、技術開発、人材育成等の諸問題の解決を支援することにより中堅・中小企業の発展に資することを目的とする。

～ATAC規約第2条より～

ATACは上記の目的に則り、これまで11年有余にわたり中堅・中小企業の発展のために数々の活動を推進してきました。  
その主なものを挙げますと

## 1. コンサルティング

ATAC活動の大部分を占める業務で図のように中堅・中小企業の抱えるさまざまなテーマについて約400件にのぼるコンサルティング業務を消化してきました。

## 2. 書籍刊行

中堅・中小企業の発展に役立つため、これまでに刊行した書籍は下記の通りです。

- ATACの経営便利帳
- 現場の課題解決はこうする（中堅・中小企業の業務改善事例）
- 中堅・中小企業へのATAC提言集
  - ① 新商品開発のヒント
  - ② ISO9000認証取得の手引き
  - ③ ISO14001認証取得の手引き
  - ④ 中小企業のためのIT
  - ⑤ 材料選択の手引き

## 3. NASCA(産学連携のお手伝い)

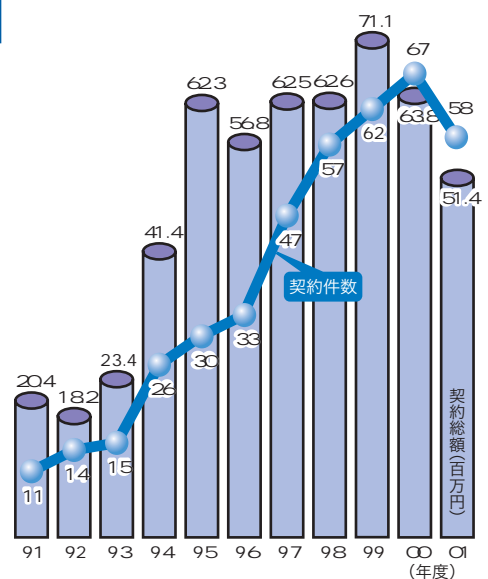
企業の技術ニーズをお預かりして、最適な技術シーズを持つ大学や研究機関などを探し、ご紹介する業務です。

## 4. 公的支援情報送信サービス

ご希望の企業に、国や府県等による研究開発補助金等の公的支援募集情報をタイムリーに分かりやすくe-mailやFAXで無料配信する業務です。

### 契約実績の推移

(単位百万円)



### 書評

#### 「浜松企業」強さの秘密 (2002年8月 東洋経済新報社発行)

浜松市を中心とした半径25km四方の地域からは、トヨタ・ホンダ・スズキ・ヤマハ・カワイという巨大な世界企業が5社も生まれ、光技術の浜松ホトニクスやシンセサイザーのローランドを始め、特殊分野において世界市場で圧倒的な地位を占めているハイテク中堅企業数は20社近くに達し、ハイテク中小企業数は60社を超えている。浜松地域は内外の中堅都市や大都市と比べると、人口当たりの機械工業の付加価値は世界一だ。浜松地域を具体的に調べれば、日本の製造業の将来を展望できるに違いない。

本書は冒頭に上記のコメントを掲げ、サントリー文化財団研究補助によって多数の専門家で構成する浜松地域の研究グループが調査研究した結果を詳細にまとめている。

浜松に優れた企業が次々と生まれた要因は、この地域の歴史・風土の中にあるとして、浜松の歴史の調査から始まり、浜松の人々は権力者の庇護を受けた歴史がないため自主独立の気風が強く、「やらまいか」精神が多くベンチャー企業を生んだと解説している。

日本の経済を背負う製造業に携わる方々には、大きな示唆を与えるものと考え、ご一読をお勧めするとともに、ATAC会員は2月に浜松地区の見学を予定していることを付け加えておきます。